

## 〔2〕 研究開発単位Ⅱ「SOZAN 国際塾」

### (1) 1年間の取り組み

月	主な取り組み
4	新入生歓迎会でのプレゼンテーション
5	令和元年度短期海外研修報告会
6	テーマ設定に関する講義
7	オープンスクールでのプレゼンテーション, ビジネスプラン作成講座
8	グローバル合宿, 岡山大学特別講義, 岡山大学SDGsアンバサダーミーティング, Ocean's47, ビジネスプラン作成講座, 夏休み明け報告兼発表会
9	松柏祭でのプレゼンテーション
10	Sacred Heart College との交流会, SPICE(Stanford Program on International and Cross-cultural Education) for Japanese High School student )受講(～2月) G20保健大臣会合, 岡山大学統合報告フォーラム2019
11	課題研究中間発表会, きらり輝け!高校生キャリア教育フェア2019 岡山大学サイエンスカフェ, ソーシャルリーダーオータムキャンプ 瀬戸内海海ごみフォーラム in 岡山, 市民地域共同発電所全国フォーラム
12	全国高校生フォーラム
1	未来航路発表会リハーサル, 未来航路課題研究発表会, 学校交流
2	岡山城東高校での課題研究発表会, 岡山学芸館高校での課題研究発表会
3	令和元年度短期海外研修, 探究甲子園

### (2) 取組実践

「持続可能な開発目標(SDGs)」における17の目標に基づいたテーマで課題研究を行った。意欲ある生徒を対象に、幅広く深い教養、課題解決能力、コミュニケーション能力、リーダーシップ、社会貢献の意識の5つの資質と能力を身につけ、グローバル社会で活躍できる生徒を育成するために、なるべく多くのインプットやアウトプットとフィードバックの機会を生徒に与え、様々な活動の機会を提供した。校内ではランチョンミーティングを定期的に行い、研究の進め方や研究の進捗状況を報告し合う時間を設けた。また全員が発表できる機会を増やすため、夏、秋、冬と校内での発表の機会を設け、併設中学校や在校生にも案内を出し、多数の教職員からも見られるという形で発表会を行った。また、きちんとフィードバックを返せるように対面、または紙面で、今行っている研究に対してそれぞれの生徒に多くの教職員、生徒、担当教員からフィードバックを返し、研究に生かすことができるように支援した。校外での発表の機会も増やし、延べ30名の生徒が校外での発表の機会を得ることができた。生徒はそれらに合わせて最大限の努力をし、研究を深め、大いに成長することができた。また、複数分野にわたる様々な講義・講演等にも積極的に参加し、第一線で活躍する外部の方々から多くの学びの機会を得ることができ、生徒の資質能力の向上に貢献した。それぞれの活動後に毎回「振り返りシート」の提出を求め、自己評価の機会を設けた。このように、校内外からの豊富な知識

や経験のインプットや、年間14回という充実したアウトプットの機会の提供とフィードバックと振り返りの機会を設けることにより今年度活発に活動を行うことができた。

(ア) 校内での取り組み

①発表の場の充実

今年度、校内での発表を8回で、そのうち全員に発表を課すものを4回行い、昨年度よりもさらに発表の場を増やした。全員発表の場が塾内だけのものとならないよう、本校の教職員、在校生、併設している中学校と中学校教職員にも参加を呼びかけ、満員の会場の中。発表を行った。国際塾生が緊張感を持って発表し、多くのフィードバックをもらい、研究に活かすことができるだけでなく、国際塾の活動を中学生や教職員、本校の生徒に知ってもらえる場となった。

②図書課との連携

毎年、生徒が一番困るのが情報収集である。年々インターネットからの情報収集が多くなっているが、ふさわしくないものも含まれ生徒は苦勞している。そのため、今年度は新たな取組として、図書課と協力をし、生徒の研究に役立つ文献リストを紹介していただき、そこから生徒が選んで文献を購入した。生徒からは、「インターネットで見えていた情報の元となる文献を紹介してもらい、インターネット上では見つけられなかったその後の研究も読むことができ、大変役に立った。」という声があがっている。

③グローバルスキルトレーニングの実施

今年度も引き続き5つの資質能力の向上のため、また英語力のさらなる向上のためグローバルスキルトレーニングを実施した。本校のネイティブの英語教諭により、グローバル人材・グローバルスキルとは何かを考えさせたり、英語で楽しく文化について学ばせたり、様々なテーマで講義・演習を実施した。



## (イ) 外部との連携

### ①SGH校との連携

1月28日(火)には、本校主催の課題研究発表会が行われ、毎年その際にSGH校に発表を依頼し、交流会を行っている。今年度は岡山県立岡山城東高校、東京学芸大学附属国際中等教育学校、岡山学芸館高等学校をお招きし、午前にはポスタープレゼンテーション、午後にはステージ発表をしていただいた。交流会では研究上の苦労や工夫していることなど、お互いに積極的に意見交換をし、有意義な時間を過ごすことができた。

2月5日(水)に岡山県立岡山城東高校で開催されたSGH課題研究発表会に1年生2名と2年生9名の計11名が参加した。ステージ発表部門の研究テーマは「若者の環境問題に対する意識の現状と改善策」、ポスター発表のテーマは「外国人労働者の就業及び生活に必要な日本語教育の水準に関する考察」と「高校での性的マイノリティについての教育～学校現場から理解を深める～」であった。すべての発表後には活発な質疑応答があり、他校の生徒との学び合いが積極的に行われた。

2月15日(土)に岡山学芸館高校で開催される課題研究発表会に2年生3名が発表をする。11月16日に2日かけて行われた学芸館高校とNPO法人主催のソーシャルリーダーシップオータムキャンプで、社会課題解決について具体的に学び、解決策を考え、発表した生徒が、学芸館高等学校と合同で社会の課題に対する解決策についてさらに調べを進め、発表を行うという取り組みで、学校の枠を超えて活動を行うことができた。

### ②関西学院大学との連携

8月1日(木)、2日(金)の二日間、昨年同様、SGU大学である関西学院大学の協力のもと、西宮上ヶ原キャンパス並びに関西学院大学スポーツセンターにて、グローバル合宿を開催した。関西学院大学において実際に行われている「国際情報分析」を、講義や実習、発表等を通じて学んだ。初日は、大学教員による国際情報分析の方法及び意義についての講演をいただいた。その後、テーマ別に4つのグループに分かれ、グループごとに大学生の指導のもと、パソコンルームや大学附属図書館を利用して調査・分析・発表資料の作成を行った。二日目は大学附属図書館にて分析・発表準備の続きを行い、午後にはグループごとにプレゼンテーションを行い、グローバル合宿に携わってくださった大学教員3名、大学生4名から指導・講評をいただいた。本合宿を通して、一つの物事を多角的に見ることの重要性を、実践を通して学ぶことができ、充実した二日間を過ごすことができた。なお、今回のグローバル合宿で取り組んだテーマは以下の通りである。

- ・ルーズベルトの陰謀論は真実か ～真珠湾攻撃は不意打ちだったのか～
- ・日韓請求権協定によれば徴用工問題は韓国の問題か
- ・北方領土について ～ロシアは安全保障上日本に返す気がある?～
- ・日本国憲法はアメリカによって作られたのか

### ○詳細

- 1 期 日 令和元年8月1日(木)～2日(金) 【一泊二日】
- 2 場 所 関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス、関西学院大学スポーツセンター
- 3 参加者 生徒：SOZAN国際塾生21名  
引率教員：SGH推進室担当教員(平松・佐藤)  
外部講師：関西学院大学国際学部 關谷 武司 教授

関西学院大学国際教育・協力センター 山田 好一 教授  
関西学院大学国際教育・協力センター 江寄 那留穂 助教  
大学生 4名

- 4 目的 関西学院大学において実際に行われている「国際情報分析」を、講義や実習、発表等を通して体験する。
- 5 費用 初日昼食代及び2日目昼食代（学生食堂にて各自選択）  
\*宿泊費用 1800円，初日夕食代 800円，2日目朝食代 500円についてはSGH  
予算より負担  
\*交通費はSGH予算より負担
- 6 日程
- |             |                       |
|-------------|-----------------------|
| 8月1日（木）8:30 | バスにて本校発               |
| 11:30       | 関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス着     |
| 11:30～12:30 | 昼食                    |
| 13:00～18:00 | 講義，演習（G号館，図書館，パソコン教室） |
| 18:00～19:00 | スポーツセンター入館・オリエンテーション  |
| 19:00～20:00 | 夕食                    |
| 20:00～22:00 | 演習（適宜入浴）              |
| 22:00～23:00 | 各人発表準備                |
| 23:00       | 就寝                    |
| 8月2日（金）7:00 | 起床・身支度                |
| 7:30～8:30   | 朝食                    |
| 9:00～11:30  | 発表準備（図書館・G号館）         |
| 11:30～12:30 | 昼食                    |
| 12:30～15:00 | 発表，質疑応答，相互評価，講評（G号館）  |
| 15:30       | スポーツセンター発             |
| 18:30       | バスにて本校着               |

○参加した生徒の感想

<幅広く深い教養>

- ・北方領土について詳しく学び、考える時間をとったことはなかったので、歴史的な背景までしっかりと学ぶことができた。
- ・いろいろな文献を使って調べることができた。
- ・自分が調べた徴用工問題はもちろん、それをとりまく環境や政治についても知ることができた。
- ・様々なテーマについて多角的な視点から物事を考え、主に徴用工問題について深い知識が得られた。
- ・北方領土問題について（歴史的視点）の知識が身についた。
- ・世界の問題について様々な知識が得られた。

<課題解決能力>

- ・様々な文献をあたってグループの人たちと深い話し合いができた。
- ・今までの「調べてまとめる」ことではなく、「調べて検討し、自分の考えを述べる」という

新しい課題解決方法を知ることができた。

- ・求めていた資料を見つけられなかった時も諦めずに探した。
- ・調べるほどバラバラであった情報が関係性を持ちつながってゆくのがまるでパズルのピースがぴったりはまるようだった。
- ・パワポなどで得意な分野を割り振って頑張った。
- ・情報を組み合わせることで矛盾を見つける力が身に付いた。
- ・与えられた課題を解決する道筋の立て方が学べた。

<コミュニケーション能力>

- ・大学生やグループの仲間と討論する機会が多く、自分の力を高められたように思う。人前での発表を原稿なしで説明するのは不安だったが、うまくできたように思う。
- ・大学生の方とも、あまり話したことがなかった人ともたくさん話せた。
- ・グループの人と話し合いながら進めていく必要があり、また、発表の時の態度についてもコミュニケーション力が必要だった。
- ・グループのみんなと積極的に会話をした。
- ・グループで集めた情報をディスカッションし、内容を深めていった。
- ・グループ内で自分の考えを述べるができる。分からないことはきちんと質問できる。どんな人とも話ができる。

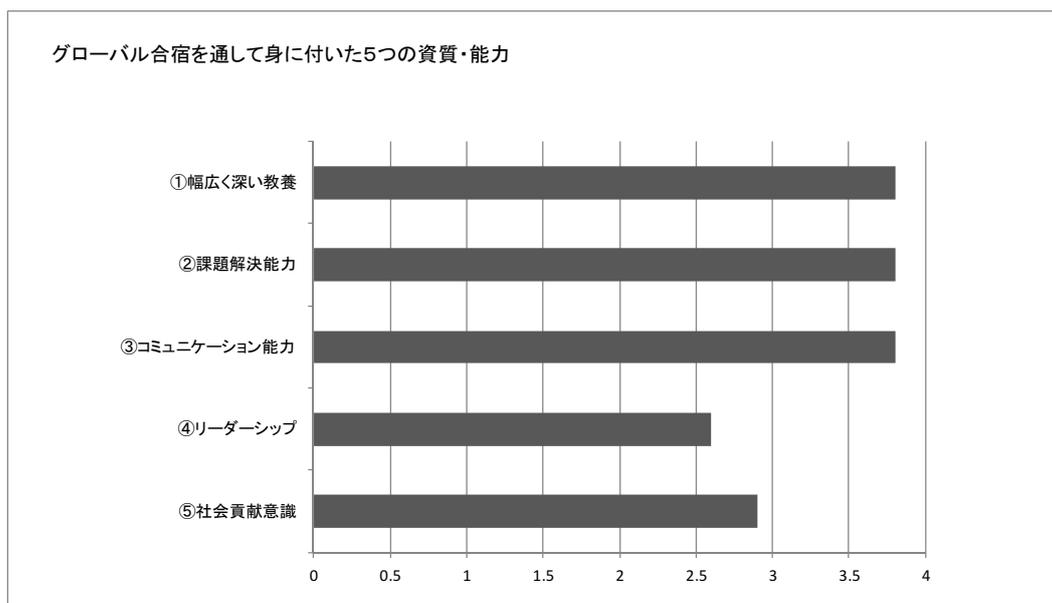
<リーダーシップ>

- ・大学生にグループの指揮を任せっきりにしてしまった。様々なリーダー像を学ぶことができた。
- ・リーダーシップというよりは、フォロワーシップの方が身についたように思う。
- ・自分が専門で身につけた知識は、中心となって参加した。
- ・短時間で発表を仕上げるという点でそれぞれが自分の担当についてまとめられた。
- ・みんなの意見をまとめて一つの発表にできた。

<社会貢献意識>

- ・今回学んだ北方領土は、今後国際社会の中で必ず鍵となる出来事だと思うので、将来的に自分がグローバルリーダーとなって問題解決に貢献したいと思った。
- ・とてもホットな話題だったので、社会で問題となっていることを解決するということが貢献しようと思えた。
- ・今、社会で問題になっていることは何かを知ることができた。
- ・身近な社会問題を自分の問題として捉え、自分なりの解決策を出せた。
- ・もっと身の周りのことに興味を持ちたい。
- ・行動だけでなく知識を取り入れて周りの人に伝えることも大切だなと思った。
- ・世界の諸問題は自分にも関係のある話だと自覚し、解決のために何か取り組みたいと思うようになった。





### ③岡山大学との連携

今年度、岡山大学主催の岡山特別講座，岡山大学 SGDG s アンバサダーキックオフミーティング，岡山大学統合報告フォーラム 2019，岡山大学サイエンスカフェなどの各種講義に国際塾の希望者延べ16名が参加した。岡山大学 SGDG s アンバサダーキックオフミーティングでは今後 SDG s（持続可能な開発目標）を達成するために，定期的に集まり活動をするようになっており，今後岡山大学と国際塾の連携も深まる予定である。

### ④オーストラリア海外研修

毎年3月にオーストラリアへ研修に行っている。今年度の海外研修はまだ実施前だが，これまでの研究結果について，現地の高校生・大学生の前でポスターセッションをする予定である。また，ディスカッションや現地調査を行い，これまでの研究を更に進化させることを目的としている。

#### ■目的

海外でのフィールドワークや現地高校生，大学生等との交流を通じて国際的教養を身につけるとともに，未来を切り拓くグローバル・リーダーに欠かせない，より幅広い視野を持って異文化を理解する態度の育成を図る。

本年度に正式に姉妹校連携（訪問，受け入れを含む）をした相手校の Sacred Heart College, Senior School(以下 SHC) のある南オーストラリア州アデレード市を訪問する。現地では，各班が研究を行っている課題についての発表とその後の意見交換を行う最終日を含めて SHC 本校へ3日間訪問し，南オーストラリア博物館と公共施設への訪問，現地企業で働く日本人とのセッション，アデレード大学で大学生との交流をする予定である。また，課題研究のために日豪比較等のデータを収集し，分析するよう勧めている。

#### ■事前研修（予定を含む）

8月1（木）2日（金）グローバル合宿@関西学院大学

8月16日（金）課題研究レポート提出

9月25日（木）SHC 生徒の後楽園案内

- 10月～11月（月・金）テーマごとの中間報告
- 12月15日（土）全国高校生フォーラム@東京国際フォーラム
- 12月末 課題研究進捗状況報告
- 1月28日（火）2年生未来航路発表会でのポスターセッション
- 2月10日（金）校内ポスター発表
- 2月末 英語版ポスターセッション用ポスター作成
- 3月上旬（木）発表練習（予定）

■事前説明会

上記10月28日（月）および2月14日（金）に参加生徒とその保護者を対象に、本校と旅行会社から、研修と旅行に重要な情報を提供した。

■研修の日程（予定）

	月日 (曜)	地名	現地時刻	予定	宿泊
1	3月14日 (土)	岡山駅集合 岡山駅出発 関西空港発 香港空港着	14:00 14:30 19:10 22:40	新幹線  CX561 便 香港で乗り継ぎ	機内
2	3月15日 (日)	香港空港発 アデレード空 港着	00:15 11:40	CX175 便→バス, ترام 到着後市内研修, アデレード 大学キャンパスツアー, 学生 と交流	ホテル
3	3月16日 (月)	ホテル発 SHC	バス	SHC にて研修	ホームステイ
4	3月17日 (火)	SHC	終日	SHC にて研修	ホームステイ
5	3月18日 (水)	SHC	終日	SHC にて研修	ホームステイ
6	3月19日 (木)	SHC 発 SHC 着	バス	フィールドワーク Jurlique 訪問	ホームステイ
7	3月20日 (金)	SHC	終日	SHC にて研修	ホームステイ
8	3月21日 (土)		終日	ホストファミリーと過ごす	ホームステイ
9	3月22日 (日)	アデレード空 港着 アデレード空 港発	10:00 13:00	アデレード空港集合 アデレード空港発 CX174 便	機内
10	3月23日 (月)	香港空港発 関西空港着 関西空港発 岡山駅	01:50 06:20 08:00 10:00 頃	CX566 到着後, 入国手続き JR にて岡山駅へ 到着後解散	